

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 森田 義弘

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和5年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. 今後のまちづくりについて</p>	<p><b>【趣旨説明】</b>                      本町は、昭和29年10月5日に現在の武豊町が誕生してから、令和6年に町制70周年を迎えることとなります。合併当時は約16,000人だった人口が現在では、約43,000人となり、町の発展と共に人口も増加をたどってきました。                      その間、道路や上下水道などの社会インフラの整備をはじめ、高齢者や障がい者など社会的弱者に対する福祉の充実、及び子ども子育て世帯への支援など、住民が安全で安心して暮らせるよう、生活環境の向上に向けた施策が実施されてきました。                      また、高度成長期やバブル経済など、様々な社会情勢の変化の中においても、健全な町行財政の運営を行ってきたのは、本町のまちづくりに携わってきた全ての人々の並々ならぬ努力のおかげであると感謝しています。                      私も平成7年から7期28年にわたり議員として、まちづくりにたずさわらせていただき、町の変化を肌で感じてきました。                      現在、本町には、中長期的に町の将来像を描いている「第6次武豊町総合計画」、「武豊町都市計画マスタープラン」、「名鉄知多武豊駅西ランドデザイン」等、まちづくりに関する計画が多く策定されています。                      将来像を示す各種計画では、これから先の本町の人口は減少していくと推測されています。                      そこで、今後のまちづくりにおいては、今までの人口増加を前提とした計画から視点を変えていく必要があると考えています。本町においては、人口減少という未経験の環境の到来にあたりどのような視点・方向性をもって対応していくのか示される必要があると考えます。                      また、世界的な問題となっている新型コロナウイルス感染症のまん延、半導体不足や資源不足に伴う物価高騰など、世界での出来事がかなりのスピード感をもって私たちの生活に影響を与えることとなります。                      社会情勢が目まぐるしく変化している昨今の状況の中、本町が10年先、20年先を見据えて、どのようなまちづくりを進めていくのか、また、どのようなビジョンを描いて今後進んでいくのか、以下質問をいたします。</p> <p><b>【質問事項】</b>                      ① 本町の人口減少に対する考えは。                      ② 公共施設再構築に対する考えは。                      ③ 災害に強いまちづくりに対する考えは。                      ④ 10年、20年先を見据えたまちづくりについてどのように考えているのか。</p>